

ディレクターズ・トーク 諏訪敦彦監督



『H story』©2003 J-WORKS FILM INITIATIVE



諏訪敦彦監督 ©TOMOKI ODA

広島市出身の諏訪敦彦監督をお招きして、
長篇第1作『2／デュオ』と広島で撮影された『H story』の上映とトークを行います。

■『2／デュオ』

1997(平成9)年 ビターズエンド

95分 カラー 35mm

監督／諏訪敦彦 出演／柳愛里、西島秀俊、渡辺真紀子、中村久美

広島市出身の諏訪敦彦監督の長篇35mm映画デビュー作。同棲しているカップルの関係の行き詰まりを題材に、脚本によらず即興演技で描き、俳優へのインタビューも盛り込んで新境地を拓いた作品。

■『H story』

2003(平成15)年 電通、IMAGICA、サンセントシネマワークス、東京テアトル

111分 カラー 35mm

監督／諏訪敦彦 出演／ベアトリス・ダル、町田康、馬野裕朗

諏訪敦彦監督は『ヒロシマ・モナムール』のリメイクに挑むが、主演のベアトリス・ダルがセリフに違和感を覚え、撮影が中断する。フィクションとドキュメンタリーを交錯させながら、広島で映画を撮ることを問う。

●上映スケジュール

* 諏訪敦彦監督のトークは、6/21(日)11:00、14:30の回に行います。(約30分)
当該回の上映をご覧の方のみ、トークを観覧いただけます。

6/14(日)	11:00 『2／デュオ』	14:30 『H story』
6/21(日)	11:00 『2／デュオ』*上映後トーク	14:30 『H story』*上映後トーク
6/28(日)	11:00 『H story』	14:30 『2／デュオ』

ゲスト:諏訪敦彦

(すわのぶひろ／映画監督、東京藝術大学大学院教授)

1960年広島市生まれ。テレビドキュメンタリーの演出を経て、97年初長篇『2／デュオ』を発表。完成台本を用いない即興演出が話題となり、ロッテルダム国際映画祭NETPAC(最優秀アジア映画)賞受賞。99年『M/OTHER(マザー)』をカンヌ国際映画祭監督週間に出品し、国際批評家連盟賞を受賞。その他の主な作品に『H story』『パリ・ジュテーム』(オムニバスの一編)『不完全なふたり』(ロカルノ国際映画祭審査員特別賞)『ユキとニナ』など。17年にヌーベル・ヴァージュの伝説的な俳優ジャン＝ピエール・レオーを主演に迎え『ライオンは今夜死ぬ』を発表。20年『風の電話』が第70回ベルリン国際映画祭ジェネレーション14プラス部門で上映され、国際審査員特別賞を受賞した。2019年一般社団法人こども映画教室専務理事に就任し、毎年全国の小・中学校で実施する映画教室に特別講師として参加している。



『2／デュオ』

鑑賞料:大人510円、シニア(65歳以上)・高校生250円、小中学生無料 各回定員100名

広島市映像文化ライブラリー

〒732-0822 広島市南区松原町9-1 エールエールHIROSHIMA10階 TEL:082-298-0551 FAX:082-298-0552

交通情報:JR広島駅・広島電鉄広島駅・広島駅バス停から徒歩約5分 専用駐車場はありません

<https://hiroshima-eizoubunka.jp>

■開館時間 月曜日～金曜日 10時～21時 土曜日、日曜日、祝日、8月6日 10時～18時

■休館日 第2月曜日(祝日は開館)、12月29日～1月4日

